



各小学校代表
18人の児童の
子ども議員としての
活動を紹介するっ!



小学生が議会を体験 第12回 結城市子ども議会

7月24日、小学生が議員となって議会質問を体験する「第12回結城市子ども議会」が開催され、各小学校代表18人の児童が子ども議員として参加しました。また、傍聴席では各小学校代表の18人の児童が傍聴し、議会について学びました。この取り組みは、隔年で開催しており、子どもたちが市政のしくみと議会の活動を理解する一助とするための取り組みです。

また、子どもたちの豊かな感性を生かした貴重な提言をすることにより、住民参加によるまちづくりへの意識の高揚を図り、郷土愛を育む機会としています。



各小学校代表の児童と保護者が議会を傍聴する様子

子ども議会の1日がスタート

委嘱状を受け取ります



子ども議会開催前に、市長と議長から委嘱状を受け取ります。その後、市議会議員の皆さんへ挨拶を行い議場へ移動。市議会議員の皆さんは議員控室からモニターを通して傍聴しました。

結城市議会議員の皆さんへ挨拶



議長の進行で子ども議会は進行



登壇して子ども議員たちが質問



市議会と同じく、佐藤議長の進行で子ども議会は進行されます。子ども議員たちは、実際の議会と同じように登壇して質問しました。子ども議員からの質問を受け、執行部である各部の部長が答弁しました。

子ども議員の全ての質問が終了



4・5ページで子ども議員の
質問内容を紹介するっ!



全ての質問と答弁が終了した後、小林市長から「素晴らしい意見や提案を今後の総合計画や市政に生かしたい」と感想がありました。最後に、子ども議員一同でよい子の宣言を行い、子ども議会は閉会しました。